

広報大洲

きらめき創造 大洲市
—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—

2013 11
No.106

大洲



えい、カゴに入れ

がんばる大洲っ子

今月の題字作成者

大洲南中学校1年（現：大洲南中学校2年）

宮岡 愛^{あい} 里^り さん



私は今、志望校に進学できるように勉強を頑張っています。苦手な教科もありますが、これから受験の時にまでに克服し、将来の夢に近づけるように努力しているところです。

私の将来の夢は、母のような看護師になることです。母から話を聞いたり、テレビの特集番組を見ると、とても大変な仕事だと思えますが、憧れの職業なので絶対になりたいと思っています。

私は「愛」という言葉が大好きです。自分の名前にも入っているし、自分の周りに愛があふれていたなら、とても素敵なことだと思います。私が看護師になったら、患者さんにも愛をもって接することができるようになりたいです。

11月の納税など

納期限は12月2日(月)です

税 別	11月	12月	1月	2月
市 県 民 税		4期		5期
固 定 資 産 税	4期		5期	
軽 自 動 車 税				
国 民 健 康 保 険 税	5期	6期	7期	8期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を！

現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人口	47,025人 (-33)	件数 114件(137件)
男	22,376人 (-19)	死者 1人(1人)
女	24,649人 (-14)	負傷者 136人(161人)
世帯数	20,272世帯(-13)	

(2013年9月末現在)

CONTENTS 目次

2ページ	がんばる大洲っ子・今月の表紙
3ページ～	第2期清水大洲市政スタート
6ページ～	異文化に触れる、自分を磨く ～大洲市中学生海外派遣事業～（特集）
10ページ～	おおずニュース
13ページ～	シリーズ
15ページ	まちのわだい
16ページ～	おしらせ
25ページ～	図書館・保健センター・ 心と体の健康ガイド
28ページ	がんばるひと（みよし体験塾）

今月の表紙

picture 写真



10月8日(火)、養護老人ホームさくら苑で行われた運動会を取材しました。

当日は、白滝保育所児童8人が施設を訪れ、玉入れなどでお年寄りとの交流を図りました。

児童たちは、この日のために練習してきた歌やダンスを披露し、施設のみなさんの目を楽しませていました。

第2期清水大洲市政スタート



大洲市長 清水 ひろし 裕



大洲市教育委員会教育長 二宮 たかひさ 隆久



大洲市副市長 小島 けんいち 健市

安心安全で活力あるまちづくりを目指して

9月1日に告示された大洲市長選挙において、引き続き市政2期目の重責を担うことになりました。これからも大洲市のため、一生懸命、誠実に市政に取り組んでまいります。

1期目を振り返って

まず、私自身が大洲を良く知るために、市民のみなさんと各企業のみなさんと積極的に交流を図りました。そのなかで、大洲市がこれから元気になるためには何をすればいいか、どのような可能性があるかを探することを第一に取り組みました。

また、市民のみなさんが、自分たちの力を上手に発揮できるような仕組みを作りたいと思い、大洲ええモンセレクションやO級グルメなどで地域産品のブランド化を図り、まずは大洲市の良いものを多くの人に知っていただく。そして、大洲市を訪れたみなさんに大洲の味や食材を、食事から知っていただくことを念頭に置き、取り組みました。

2期目の抱負

1期目からの取り組みを着実に

継続していきます。社会全体が人口減少へと向かっている現在、県内だけでなく関西や関東、アジア圏を含めた外の地域からの交流人口を増やすことが、地域活性化への大きな一歩だと考えます。大勢のみなさんに大洲を知っていただき、直に大洲の雰囲気を感じたいと思っただけのような、魅力あるまちづくりに力を入れていきます。

具体的な施策について

1期目に引き続き、1次産業をベースとした地域産品のブランド化を図ります。大洲市における白菜やクリ、シイタケの生産量は4国で1位であるにもかかわらず、その知名度は決して高くありません。知名度向上のためにも、消費者に良いものを直接提供できる仕

組みを確立することが重要であり、今後の課題だと思っています。併せて、農産物を加工することで付加価値を付け、商品としての価値も上げていきたいと考えています。

水害対策については、安心安全な生活をみなさんに提供するために、現在、鹿野川ダム改造事業や長浜町の河口付近の堤防などの整備事業を着実に進めています。さらに、事業に合わせ各地域の築堤を進めていて、近い将来、工事完了とともに洪水調節の容量が増え、水害に対する安全度は格段に上昇することになります。また、肱川橋の架け替え工事や山鳥坂ダム事業などの大型公共事業を上手く生かし、地域の活力向上につなげていきたいと思っています。

観光面では、季節ごとの大洲の魅力をさらに伝えていきたいと思っています。大洲には季節ごとに誇れる場所がたくさんあります。夏は、肱川の「うかい」があり、秋には紅葉の名所が多数あります。長浜町で見られる冬の風物詩「肱川あらし」は、世界でも非常に珍しい現象です。現在、ライブカメラを利用したインターネット配信を行っています。今後は地元と連携した新たな事業を展開していきたいと思っています。大洲の

素晴らしさを広く伝えていくためにも、さらなる情報発信に努めていくつもりです。

財政面では、合併後の非常に厳しい財政状況の中で財政健全化に努め、計画していた数値目標を無事達成することができました。引き続き効果的、効率的な投資を行い、何かしらの形で市民のみなさんにも還元していきたいと考えています。

市民のみなさんに向けて

大洲市には、誇るべき歴史と文化があります。今まで守ってきた歴史や文化を振り返りながら、自分たちの生活の一部として育んでいくことが、重要になってくると思います。

私は公約の中で、「チャレンジ」「コラボレーション」「チェンジ」の3つのCを掲げています。この実現には、行政だけではなく、市民のみなさんの協力が不可欠です。大洲市を訪れた人たちに対し、おもてなしの心で接することも大切であり、新しいことにチャレンジしている人を応援することも重要だと思います。それらの行動が、地域の活力や元気につながります。行政と市民のみなさんがお互いに協力し合い、大洲市を元気にしていきましょう。